標準予防策チェックリスト

視点　①防護具着脱の教育が実施されている（手袋・サージカルマスク・ガウン・ゴーグル）

②防護具が必要な場所に、設置され管理されている

③患者の病室から出る前に、個人防護具を脱ぎ処理をしている

巡視項目	巡視項目	巡視の視点・根拠	部署自己チェック		ＩＣＴチェック	
			良い	要改善	良い	要改善
手袋	血液、他の感染性物質、粘膜・創のある皮膚、汚染している可能性がある正常皮膚へ触れる際は手袋を装着している（採血・注射・吸引・創傷処置等）	患者に関わる時には、手袋を装着している 湿性生体物質からの実施者の身を守るため				
手袋	同一患者であっても、１つの手袋を異なる手技に使いまわししていない	一処置毎に手袋を交換している 他の部位への交差感染のリスクを減らす				
手袋	患者ケアで使用した手袋を装着したまま環境表面に触れていない	患者に使用した後は、手袋を外している 環境表面の汚染からの交差感染のリスクがある				
手袋	手袋を外す際は汚染が拡大しないよう正しく外している	中表にして外している 手袋を外した手や環境が汚染されないため				
ガウン	血液、体液、分泌物、排泄物との接触が予想される場合はガウンまたはエプロンを装着している（処置、検査、オムツ交換、排泄介助、汚染物の洗浄等）	状況に応じた個人防護具を装着し、曝露予防している 湿性生体物質からの実施者の身を守るため				
ガウン	血液、体液により曝露する恐れがある場合ガウンまたはエプロンを装着している					
ガウン	直接の患者のケアには、使い捨てのガウンまたはエプロンを使用している	患者ケア時に使用しているか確認する 患者➔環境➔患者等の接触感染の予防のため				
ガウン	エプロンを使用するときは、長袖の衣服は着ていない	長袖は袖口を汚染させる可能性があるので、エプロンを装着するような状況では長袖の衣類は適切ではない 処置中に、袖が触れて不潔になる可能性がある				
ガウン	血液、体液、分泌物、排泄物の跳ね返りや、浴びる可能性の高い処置や患者ケアを行う際はマスク、必要時ゴーグルを装着している	状況に応じてサージカルマスク、ゴーグルを装着している 血液、体液曝露から自分自身の身を守る				

マスク・ゴーグル	飛沫予防策にはサージカルマスクを用いている	飛沫感染の患者に対しマスクを装着している 飛沫から自分自身の身を守るため				
	空気予防策には、N95マスクを正しく装着している	あらかじめフィットテストで自分に合うマスクやサイズを確認しておき、装着ごとにフィットチェックを行っている 飛沫核から自分自身を守る				
	サージカルマスクは鼻から顎までしっかり覆い正しく装着している	あご、鼻出しマスクをしていない 湿性生体物質からの実施者の身を守るため				
	使用後のマスクは速やかに廃棄している	ケアに使用後、装着したままにせず、感染性廃棄物に廃棄している 一処置毎に交換し交差感染を予防する				
手指衛生	手洗いに関する教育が全職員に実施されている	継続して実践を含め指導を行っている 全職員の感染対策予防のため				
	患者周囲の環境表面には不必要に手を触れていない	環境表面は汚染されている意識を持つ 接触感染予防のため				
	手が肉眼的に汚染されているとき、石鹸による手洗いを行っている	流水だけでなく、石鹸を使用している 接触感染予防のため				
	患者に触れる前に手指衛生（石鹸による手洗いまたは手指消毒）を行っている	ＷＨＯの手指衛生のタイミングが実施できている				
	清潔、無菌操作の前に手指衛生を行っている					
	体液で汚染された可能性がある場合、手洗いを行っている					
	患者に触れた後、手指衛生を行っている					
	患者の周辺環境や物品に触れた後は手指衛生を行っている					
	患者ケアの間に汚染された個所に触れ、清潔な個所に移動する際手指衛生を行っている	汚染時流水下または速乾性手指アルコー 接触感染予防のため				
	手袋を外した後は手洗いを行っている	手袋を外した手は汚染されている意識を持っている				
	爪が伸びていない	爪はきれいに切ってある 不十分な手洗いによる汚染拡大リスク				
	指輪、時計はつけていない	時計を外して手洗いしている 装飾品があると、洗い残しがあるため				